

【特集】

輝

く

ま
ち
の
姿

A City that Shines

—— いまを未来につなぐ ——



Index

【特集】輝くまちの姿	33
まちの未来を語る座談会	35
東海市子どものオーケストラ	39
細井平洲をひもとく	43
名誉市民	45
東海市ふるさと大使	47
緑のあゆみ	49
魅力ある中心市街地	57
市制50周年記念事業	61



まちの未来を語る

「心豊かで活力に満ちたまちづくり」を掲げさまざまな発展を遂げた東海市を、若者たちはどのように見つめ何を感じているのか。

今の東海市と、住み続けたいまちの未来像について、高校生、大学生のみなさんのリアルな意見を伺いました。

Tokai City has grown and developed to become a vibrant city full of energy. How do the young people view the city? What do they think of their home?

We asked high schoolers and university students for their frank opinions about today's Tokai, and the kind of Tokai in which they would like to live in the future.





梶田真由さん
(日本福祉大学・4年生)

深谷優貴さん
(星城大学・2年生)

大橋真翔さん
(東海商業高校・3年生)



●東海市で生まれ育ったみなさんにとって、このまちの「今」の魅力は何ですか？

北上 教育に力を入れているところ。学校行事で芸術劇場が使えたり、沖縄体験学習で沖縄に行けたり。他市の友人から羨ましがられました。
梶田 私も沖縄体験学習は印象的でした。沖縄市の中学生との交流が楽しくて、沖縄弁が新鮮でした。あと四季が感じられるイベントがあるところ。桜、花火大会、紅葉、駅前のイルミネーションとか。

大橋 自然もあふれていますよね。大池公園や元浜公園とかいろんな公園があるのも魅力。
左合 公園は子どもとの交流の場にもなります。小学生の時に引っ越してきたけど、近くの公園ですぐに友だちができました。
清水 東海秋まつりやシティマラソンなど季節ごとのイベントも楽しいですね。
深谷 なんといってもお祭り。山車があるし、花火大会も規模が大きくて自慢できます。

●昔と今、変わったと感じるところは何かありますか？

清水 太田川駅が大きくなったこと。名古屋とセントレアの中継地点だから太田川駅が発展するのは良いことだと思います。
大橋 駅舎の形が変わったのは少し残念だけれど、便利で使いやすくなりました。
梶田 太田川駅と言えば、以前は「開かない遮断機」があって、いいイメージがありませんでした。今はきれいで便利になり、友人を呼びやすくなったから、よく駅で集合しています。

ギンギンしていますよ。

梶田 私も、犬の散歩でよく行きます。明るくて安全だし、お年寄りもウォーキングしているから刺激を受けて、がんばろうと思えます。
左合 しあわせ村のカルチャー教室で空手を習ったことがあります。いろんなカルチャー教室があって、広報紙「とうかい」に案内が載っているの、よく利用しています。
大橋 僕も「とうかい」に体育館の利用方法が載っていたから、友人と体育館を借りてバドミントンをしました。卓球も、ラケットや球を貸してくれるから気軽にできます。

梶田 「とうかい」は東海市のイベント情報が載っていて、けっこうしっかり読みますね。
●東海市にあったらいいと思うサービスや施設はありますか？

深谷 高齢化社会に向けて「らんらんタクシー」があるといいな。らんらんバスのタクシー版。家の前に来てくれて、行きたいところに行ける。
清水 賛成。あと、お年寄りが西知多総合病院に電車で通いやすくなるように「病院前駅」がほしい。高架駅だとベスト！

梶田 シェア自転車とかシェアキックボードとか、みんな使える気軽な移動手段。観光客の方が駅から少し離れた観光スポットに行きやすくなる。その時に自転車専用道路があったら、歩行者、自転車、車の人がお互い安心して移動できると思う。子どもの通学時間は特に危ないから。

北上 私も自転車通学なので、自転車専用道路が賛成です。あと太田川が綺麗ではないときが

北上 週末は駅前でいろんなイベントがあって、子どもが楽しめる場所が増えました。

梶田 芸術劇場もできたよね。3年前に成人式で行きました。綺麗で広かったな。
左合 私は、合唱コンクールで行きました。
深谷 西知多総合病院ができたことも。家族が入院したんだけど、きれいで便利だから安心できました。

左合 道の整備が進んでいることもうれしいです。買い物便利になって、名古屋にも行きやすくなりました。店や人が増えて、まちの活性化を感じます。
梶田 日本福祉大学も駅前に移って、時間を気にせず過ごせるようになってうれしいよね。
北上 居酒屋が増えて夜も賑やかになったと感じます。活気があるのは良いと思う。でも、近隣の人はちょっと迷惑なのかなと感じる時があります。
梶田 大学生は耳が痛いです。近隣の迷惑にならないように気を付けます！

●市内でよく行く場所や利用することは、何ですか？

大橋 大池公園でランニングしたり、緑道で犬の散歩をして、リラックスしていますね。
清水 僕は大窪公園です。友人たちとキャンプ場でBBQ大会をしますよ。
深谷 中央図書館でテスト勉強をよくしていました。静かで集中できて勉強がはかどります。
北上 同じく中央図書館です。集中できて良いけど、欲を言えば長机より個人机の方がいいなと思います。あと父と弟がしあわせ村でよくジョ

あるので、美化活動があるといいな。

梶田 平洲記念館やカゴメの工場があるけど、あまり知られていない。平洲先生は偉大な人！というのを市外や海外の人にも知ってほしいです。
左合 カゴメミュージアムみたいな施設ができるといいな。海外の人も楽しめそう。
大橋 映画館や、みんなで遊べるレジャー施設が自転車で行ける場所にほしい。利用料と往復の電車代は、子どもには出費が大きくて。(全員賛成！)

●みなさんが理想とする、東海市の未来の姿を教えてください。

左合 海外の方が立ち寄りたくなるまち。今は「住んでいる人に優しい」というイメージがあるから、外から来た人にも優しくして、訪れたいなるまちになってほしいです。
梶田 高齢者の方が孤独を感じずに楽しく暮らせて、海外の方も住みやすい、全ての人が住みやすいまち。

北上 お年寄りも子どもも、みんなが笑顔になれるまち。

大橋 以前より住みやすくなりましたが、もっと快適になって、暮らしやすくなるといいな。
清水 発展と自然とが共生する、きれいなまち。
深谷 若者が輝けるまち。高齢者を支える下の世代が、いろんなことに挑戦して力を発揮して輝けば、東海市はもっといいまちになると思います。



北上 葵さん
(東海商業高校・3年生)

左合真理さん
(日本福祉大学・2年生)

清水 翔さん
(星城大学・2年生)

レッスン風景



ORCHESTRA
東海市
子どもの
オーケストラ

東海市子どものオーケストラでは、仲間と取り組むオーケストラ活動を通して、豊かな心と生きる力を育みながら、日々練習に励んでいます。

Tokai Children's Orchestra
With daily practice sessions, Tokai Children's Orchestra strives to foster rich minds and a zest for life through orchestral activities which sees members working together.

豊かな心と生きる力を育みます

これからの文化創造の担い手となる子どもたちを対象に平成27年度に結成された東海市子どものオーケストラ。
東海市ひとつくりパートナーシップ協定を結ぶ（公財）名古屋フィルハーモニー交響楽団の楽員や、プロ指揮者から技術指導を受け、みんなで力を合わせて音楽を作るために、仲間とのチームワークを大切にしながら練習しています。



石川蒼空さん 楽器：チェロ

基礎クラス

ピアノの先生に教えてもらい入団しました。チェロ歴3年、最初は思うような音が出せなかったけど、最近はいい感じの音が出せるようになり、音楽の知識も増えました。練習すれば上達できる実感があるので、とてもやりがいがあるし、前よりも音楽が好きになりました。他校に友だちの輪が広がるのもうれしいです。

◎活動を通じて得られること
やりがいや達成感、友だちの輪が広がる

鷺野凜音さん 楽器：トランペット

オーケストラクラス

楽器や音楽には詳しくなかったけれど、活動とおして音楽がとても好きになり、将来は音楽関係の仕事に就きたいと思うようになりました。今の目標は、オーケストラの一員としてふさわしい奏者になること。普段の練習を大切に、積極的に学びながら、どんな曲でも演奏できるように技術を高めていきたいです。

◎活動を通じて得られること
将来の夢ができる、目標を持って取り組む姿勢

谷口香帆さん 楽器：ヴァイオリン

基礎クラス

発表会をみてオーケストラに興味を持ちました。オーケストラの魅力は、みんなで音楽を奏でるチームワーク。みんなの音が合うととても気持ちがいいです。上手になるためには毎日の練習が欠かせません。習慣にするのは大変でしたが、小学生の間にオーケストラクラスに入るという目標に向けて毎日がんばっています。

◎活動を通じて得られること
協調性ができる、目標を持って取り組む姿勢

INTERVIEW

ものづくり 体験事業

ものづくり道場

地元企業などと協力し、未来のものづくり産業を支える子どもたちを育み、多くの子どもたちにもものづくりの楽しさを知ってもらうために、実施している体験事業です。

- ・ゲームで学ぶプログラミング
- ・スチール缶でマイ貯金箱づくり
- ・ペーパークラフト作り
- ・ロボットサッカーにチャレンジ など



地域のスポーツ力連携事業

地元企業や地域の優れたスポーツ指導者と連携し、子どもたちの競技力向上のためにスポーツ教室などを開催しています。

ジュニア アスリート 育成



ジュニア世代スポーツ力育成事業

子どもたちの競技力向上を目指すと共に、子どもたちの夢を育み、将来トップアスリートになることを目標とする意識の向上を図るため、トップアスリートによる技術指導や、試合観戦事業を実施しています。



海外体験 学習事業 (オーストラリア)

中学1・2年生が姉妹都市・マセドンレンジズ市を訪問し豊かな国際感覚を身に付け、学校や地域を始め全国、さらには世界で活躍できる人材の育成を目的とした体験学習事業です。英語力ではなく、チャレンジしようとする意欲のある生徒を派遣しています。平成26年度より国内姉妹都市・釜石市の中学生も参加しています。



中学2年生が姉妹都市・沖縄市及び沖縄市周辺地域を訪問し、沖縄の自然や文化などに触れたり平和について学ぶことにより、人間関係を深め、協力して集団生活をしようとする態度を育成するための体験学習です。

3つの目的

- ・大自然の中での海洋研修や星空観察などを通じて自然を大切にすることを育む
- ・戦争の痛まさを直接聞くことにより、命の大切さや平和への思いを感じる
- ・姉妹都市・沖縄市の中学生と交流をする

沖縄体験 学習事業



平洲記念館

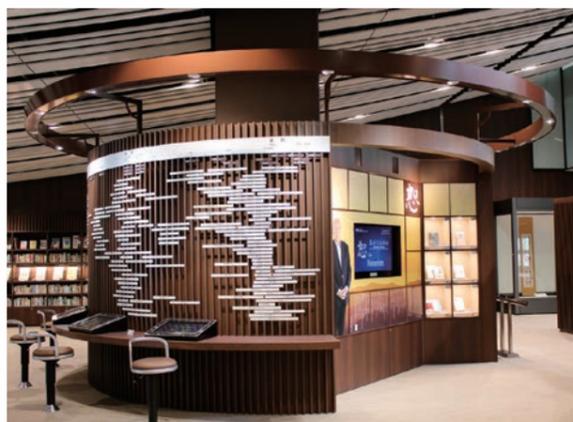
「学んだことを生かす」という実学が細井平洲の信条で、吉田松陰や西郷隆盛にも影響を与えました。その平洲の業績や、書画などの作品を中心に展示しています。

また、DVDなどで学習できる情報コーナーや講義室があり、郷土の歴史・文化財などをテーマとした講座も開催しています。



平洲祭

細井平洲の遺徳をしのぶため平洲会、平島町内会、東海市仏教会が共催して毎年開催しています。平洲が生まれた平島村(現東海市荒尾町)の氏神である平島神明社にて、来賓による玉串奉納や、保存会による踊りが披露されます。続いて菩提寺である西方寺で、法要や詩吟の披露などが行われます。



嬰鳴広場 (東海市芸術劇場 2階)

細井平洲が説いた「^{じよ}怨の心(譲る、相手を思いやる心)を学び、触れることができる施設です。その教えを現代に伝え続ける童門冬二氏の著作や解説を元に、わかりやすく学ぶことができます。

また、姉妹都市を含む全国各地の偉人についても、楽しく学べる広場です。



嬰鳴協議会

ふるさとの先人を生かしたまちづくり、人づくり、心そだてに取り組んでいる自治体が力を合わせ、その取り組みを全国に発信しています。切磋琢磨し、先人の志と行動力に学ぶ元気な地方の交流を図っています。平成19年から毎年、加盟自治体で嬰鳴フォーラムなどを開催しています。

◆ 平洲の教えを全国へ

私が細井平洲と東海市について知ったのは、上杉鷹山を小説化した25年ほど前です。彼の施策に影響を及ぼしたのが平洲であり、そして彼の教えを地域の財産として根付かせた市の取り組みを知り感動を覚えました。

平洲の特筆すべき点は、士農工商の身分制度から成る江戸時代において、庶民に学問を広めたこと。青空劇場という身近な場所や話題を通じて「人としての在り方」を説き、庶民の心を善導したことです。

地方創生がうたわれる今、東海市の皆さんには、ぜひ平洲の教えを全国区に発信していただきたい。地域に眠る歴史を再び紐解き、財産とし、「まちづくり」へと発展させる。それこそが、これからの日本に必要な地方創生だと考えます。



平洲記念館名誉館長
兼嬰鳴広場顧問

童門 冬二

童門冬二氏 プロフィール

昭和2年(1927年)、東京都生まれ。東京都立大学事務長、東京都広報室課長、広報室長、企画調整局長、政策室長を歴任した後、作家活動に専念。在職中に培った人間管理と組織の実学を、歴史と重ね合わせ、小説、ノンフィクションの世界に新境地を拓く。日本文芸家協会ならびに日本推理作家協会会員。

郷土の偉人

細井平洲

をひもとく



◆ 細井平洲

江戸時代の儒学者。米沢藩(今の山形県米沢市)中興の祖と言われる上杉鷹山の師。

享保13年(1728年)、知多郡平島村(東海市荒尾町)の農家に生まれ、幼年時代から学問に励み、24歳で江戸へ出た後、私塾^{おうめい}嬰鳴館を開き、多くの人を教えました。後に尾張藩の学者となり、藩の学校である明倫堂の初代学長をつとめ、学問を広めました。その教えは、幕末の吉田松陰、西郷隆盛らにも大きな影響を与えたといわれています。

◆ 細井平洲の教え

実学を重んじ、経世済民(世を治め、民の苦しみを救うこと)を目的とした彼の教えは、全国各地の大名から一般庶民まで幅広い層の心をとらえ、学者としてその名を歴史に残しています。身分や年齢に関わらず、人として大切なことを説きながら、学問をとおして人々の幸せを願い、国を豊かにすることを目指しました。

〈平洲の代表的な教え〉

「先施の心」「学思行相まって良となす」「勇なるかな勇なるかな勇にあらずして何をもって行なわんや」「^{じよ}怨の心」

第2号

名誉市民

honorary citizen



Ban Makoto

坂 誠

昭和11年(1936年)9月18日～平成29年(2017年)11月15日
平成29年(2017年)12月27日 推挙

平成元年(1989年)に(株)坂角総本舗の三代目社長に就任。新製品を次々と開発して全国の百貨店に進出し、「坂角のえびせんべい」の名を全国に広めるとともに、昭和41年(1966年)には銘菓「ゆかり」を命名・発売するなど、坂角総本舗を国内のみならず世界に愛される企業に育て上げ、愛知経済の発展に貢献されました。また、平成14年(2002年)に東海市観光協会会長に就任後は、東海まつり花火大会の運営に加え、冬場の観光名所としてイルミネーション事業を立ち上げるなど、本市の観光振興に大きく寄与されました。さらに江戸時代から続く尾張横須賀まつりに長年に亘って寄付を続けるなど市指定文化財の山車の保存にも尽力され、本市の文化の振興及び文化財の保護にも寄与されました。卓越した経営手腕と地域への献身的な取り組みは多くの地域住民から厚い信望を集め、本市のために尽くされた功績はきわめて顕著です。



(株)坂角総本舗の本社

えびせんべいの老舗
株式会社坂角総本舗三代目社長

大切にしていた言葉

「縁(ゆかり)」

人と人との縁をつなぐ

第1号

名誉市民

honorary citizen



Kanie Ichitaro

蟹江一太郎

明治8年(1875年)2月7日～昭和46年(1971年)12月20日
昭和46年(1971年)11月3日 推挙

明治32年(1899年)にトマト栽培を開始。トマトが西洋野菜の「赤茄子」と呼ばれ、あまり注目されていなかった時代にその将来性を見越して「農産加工」に着手し、日本で初めて「トマトソースの製造・量産」に踏み出しました。明治、大正、昭和にかけて71年の長きにわたり、カゴメ(株)の創業者としてトマトソース、トマトケチャップなどの農産加工品をとおして日本の食卓を支えられました。そして、当時類のなかった農家との契約栽培を行い地域の産業を支えるなど、郷土の産業振興に大きく寄与されました。

また、上野村議員、愛知県議員を歴任し地方自治の振興に努めると共に、上野村へ自動車消防ポンプや学校新築のための資金を寄付されるなど地域の教育や風教の善導、社会福祉の向上に力を尽くされた功績はきわめて顕著です。



最初の工場[明治43年(1910年)頃]

大切にしていた言葉

「感謝」

自然の恵みと多くの出会いに感謝

東海市ふるさと大使の思い

大使の思い

東海市ふるさと大使とは、東海市をふるさととし、ゆかりのある方に、東海市の魅力や情報を発信してもらいイメージアップを図ると共に、市民と共に大使の活動を応援し交流することにより相互の絆を深め、青少年を始めとした多くの市民が東海市に誇りを感じ、将来に夢をもてることを目的としています。「東海市ふるさと大使」の皆さんに、50周年を迎えた本市への願いや思いを、語っていただきました。また、新たに就任する大使をご紹介させていただきます。



今陽子

(歌手)
横須賀小学校卒

私が芸能生活51年になり、東海市が50周年を迎えるなんて、ご縁を感じます。素晴らしい芸術劇場も完成し、そこでコンサートもやらせていただき、ふるさと大使冥利に尽きます。これからも東海市のために、特に私は音楽面でお役に立てれば…と考えています。我が故郷の益々のご発展を心よりお祈りしています。



山崎武司

(スポーツコメンテーター)
東山保育園卒

平成20年より山崎武司杯東海市野球大会を開催して頂き11年となります。子ども達が野球をとおして成長するお手伝いが出来ればとスタートしました。未来ある子ども達がいろいろなスポーツに気軽に参加できる、そして元気な声が溢れるそんなまちづくりを期待します。



山浦ひさし

(タレント)
横須賀小・中学校・横須賀高校卒

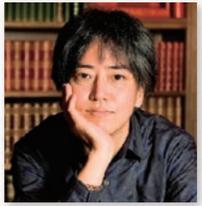
「と」かに行きたきゃすぐ行ける「う」みに行きたきゃすぐ行ける「か」いがかからのお客様も大歓迎「し」まよりもっと好きになる「し」あわせ溢れる東海市に!



近藤智弘

(プロゴルファー)
船島小学校・富木島中学校卒

市制50周年おめでとうございます。大池公園は特に思い深く、子どもの頃には、火花大会や野球の試合、プロになった後も、帰省時にはランニングをしていました。東海市は公園も多く、良い環境にも恵まれているので、今後も子どもたちが元気に育っていける街であってほしいです。



中村文則

(作家)
平洲小・中学校・東海南高校卒

東海市に生まれ、平洲小学校、平洲中学校、東海南高校と過ごしました。東海市に生まれて良かった、東海市に住んで良かった、東海市に(仕事や観光で)来て良かったと皆が思えるような、そんな東海市でいつまでもいてください。



春風弥里

(元宝塚歌劇団 花組)
富木島小・中学校・東海南高校卒

先人たちが築き、守り続けた50年。その礎の上に生きる私たちが50年、100年先の未来の東海市の人々の「夢」と「笑顔」を守ることも、もっともっとたくさん作り出すこともできる力を持っているという「希望」を、50周年という節目に市民の皆さまと抱きしめたいと思います。



ドラゴン・キッド

(プロレスラー)
明倫小学校・富木島中学校卒

東海市のふるさと大使として、昨今の市の発展を心から喜ばしく思います。幼少の頃に友とよく遊んだ太田川駅の周辺などは、芸術劇場の誕生と共に面影も無いくらいに生まれ変わりました。今後も東海市の益々の発展を祈念すると共に、私自身もプロレスを通じて少しでもその力になれるように努めて参ります。



佐藤仙務

(実業家)
東海市あすなる学園卒

子どもたちに「夢や希望を持つ大切さ」を伝えるたび、生まれ育ったまち「東海市」の素晴らしさを肌で感じています。これからも東海市の魅力を全国に！いや、世界にもアピールできるように精一杯頑張ります！



川崎郁美

(タレント)
平洲小・中学校卒

市制施行50周年おめでとうございます。東海市で生まれ育った私ですが、子を持つ母となり改めてこの街の魅力を見直す日々です。先日初めて会えたのは旅する蝶のアサギマダラ。美しく整えられた公園に優しい気持ちになりました。この先もあたたかい故郷であり続けてください。



ヨツヤタカヒロ

(音楽家・実業家)
名和小学校・上野中学校卒

東海市市制50周年おめでとうございます。ふるさとから離れ生きる私にとって、東海市は永遠に変わらない、心落ち着く唯一無二の場所です。東海市から羽ばたき世界で活躍する若者が育つ、夢、希望に満ちた街であってほしいです。微力ながらその一助となれば光栄です。



木佐貫あつひさ

(音楽プロデューサー/作曲家/和太鼓・篠笛奏者)
緑陽小学校・名和中学校卒

東海市制50周年、おめでとうございます！芸術溢れる街、東海市。産業の街でもある東海市には、「体験」「体感」の出来るコンテンツに溢れ、楽しく学べる場が充実して欲しいと思っています。私も、東海市から元気を届けていきます！



森川葵

(女優)
東海市出身

2010年ファッション雑誌「Seven teen」の専属モデルオーディション「ミスセブンティーン」のグランプリを受賞し同年デビュー。2012年に女優デビューを果たす。現在、スターダストプロモーション制作1部に所属し、映画やテレビドラマ、CMなど多くの作品に出演し、実力派女優として幅広い活躍をしている。



芦木浩隆

(イルミネーションデザイナー)
船島小学校・富木島中学校卒

関東最大級のイルミネーション施設「さがみ湖イルミリオン」ははじめ全国各地のイルミネーション施設のデザインに携わりと共に、富士急ハイランドのアトラクションなどの効果照明を手掛ける。光と音と噴水や映像など複数の要素を取り入れたイルミネーションの総合演出を得意とする。また、飲食店や企業などにおいてビジュアルやデザインのクリエイティブディレクションを行い、視覚に関わるサポートを行なっている。



榎原有佑

(映画監督)
加木屋南小学校・加木屋中学校卒

2013年に初監督を務めた短編映画「平穏な日々、奇蹟の陽」はアジア最大の国際映画祭「ShortShortFilm Festival 2014 & Asia」JAPAN部門にノミネートされ、また、2018年に初公開された長編劇映画「菜」が北京国際映画祭に正式出品、KINOTAYO現代日本映画祭では最優秀映像賞を受賞するなど、元理療士という異なる経歴を経て得た感性を武器に、独自の世界観を作り上げる「感性と技術が融合した」新しいタイプの次世代監督である。



木原龍一

(フィギュアスケート選手)
名和小・中学校卒

4歳からフィギュアスケートを始めシングルスケーター時代には全日本ジュニア選手権で2位に入賞。全日本選手権に出場し新人賞を獲得。世界ジュニア選手権で10位入賞。また、2013年からペアに転身しソチオリンピックに出場、団体戦で5位に入賞。2018年の平昌オリンピックにも出場し団体戦で5位に入賞。2大会連続で冬季オリンピックへの出場を果たすなど、輝かしい成績を取っている。



日本製鉄東海REX

(社会人野球広域複合企業チーム)

1965年に富士製鐵名古屋硬式野球部として創部。2003年に、旧「新日本製鐵名古屋硬式野球部」を母体とした複合企業型チームとして発足。都市対抗野球大会では、1974年の初出場以来13回出場し、1983年に準優勝。社会人野球日本選手権大会にも11回出場し、1976年には初出場初優勝を果たすなど、輝かしい成績を取っている。また、本市の中学校野球部を対象に日本製鉄東海REX杯の開催や、東海秋まつりでの市民交流事業の開催など、地域貢献活動を積極的に実施している。



大同特殊鋼フェニックス

(実業団ハンドボールチーム)

1964年に創部以来、1994年の「わかしゃち国体」優勝をはじめ、日本リーグ優勝18回、日本選手権優勝14回、国体優勝11回、全日本社会人選手権優勝18回など国内トップの日本タイトル獲得数を誇る国内屈指の強豪チームとして活躍。また、1999年に本市にて東海ハンドボールスクールを開校。本市の小中学生の指導にあたりと共に、2001年から全国の小学生のハンドボール技術の向上と、交流を目的に「フェニックスカップ」を開催するなど、地域貢献活動を積極的に実施している。



愛知製鋼陸上競技部

(実業団陸上競技チーム)

1970年に創部以来、1980年、1984年に中部実業団駅伝で優勝。また、ニューイヤー駅伝(全日本実業団対抗駅伝)では14年連続、35回の出場を果たしている。近年では2017年のロンドン世界陸上や2018年のアジア大会などの世界大会の競歩競技で入賞するなど輝かしい成績を収めている。また、東海市民駅伝大会の支援や市内小学校での講演会、ワークショップ開催など、地域貢献活動を積極的に実施している。